



仙台市立仙台青陵中等教育学校 PTA 便り

青陵サポーター

特別編

令和3年4月吉日発行

発行者:PTA 役員会
(代表 丸山水穂)



令和2年度 卒業式 祝辞

6年生の皆さん、保護者の皆様、本日は、ご卒業誠におめでとうございます。PTAを代表しまして、お祝いのご挨拶をさせていただきます。

改めまして、6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

この学年は、リーダーシップがあり仲の良い学年と聞いたことがありますが、皆さんの学年は本当にその通りで、分け隔てなく互いの個性を尊重し合い、この学年なりの絆を紡いでいたと思います。それは皆さんの一生の宝になることでしょう。

これから皆さんは、その宝を胸にそれぞれ新しい世界に羽ばたいていくことになります。青陵とはスケールの違う広い世界で、様々な新しい出会いや学びが、皆さんを待っています。

そんな皆さんの旅立ちに、贈りたい言葉があります。

それは、「まず何事も少し背伸びをして取り組もう。」という言葉です。有名な格言というわけでもなく、地味な言葉ですが、これは、私の大学の恩師が、毎年卒業生に贈ってくれていた言葉で、私は今もこの言葉を大事に思っています。

何事も自分のできる範囲でやっていたら成長はありません。

皆さんはきっと自分で思うより力があります。だから、少し背伸びをして、その背伸びした背丈に見合う努力をして、やり遂げてください。そうしたら、それが背伸びではなく、皆さん自身の背丈になります。

そして、次もまた少し背伸びして上を目指していく、そうやって、自分が志した道で、それぞれに成長して、自分なりの活躍してほしい。

これが、「まず何事も少し背伸びをして取り組もう。」という言葉に込められた願いと、そして、期待です。

もちろん、背丈も背伸びの仕方も人それぞれ。皆さんそれぞれが、それぞれのペースで、自分なりに成長し、志にしたがった活躍ができますよう、心から願い、期待し、応援しています。

保護者の皆様、本日までPTA活動にご理解とご協力をくださいましたこと、心より感謝申し上げます。

この学年の皆様は、子ども達のため、連携して積極的に活動してこられました。私自身、皆様の仲間に入れていただいて、楽しく何より心強かったです。本当にありがとうございました。

これからも、子ども達の母校となるここ青陵のサポーターとして、ご縁が続きますよう何卒よろしく願いいたします。

最後になりましたが、校長先生をはじめ教職員の皆様、本日まで子ども達に温かい指導をありがとうございました。

入学式のとき、まだ小学生のあどけなさが残る顔に、緊張と不安の表情を浮かべていた子ども達が、今日こうやって立派に成長して、堂々とした姿で卒業式に臨めていること、親として感慨深く、感謝の気持ちでいっぱいしております。

青陵卒業生となる子ども達に、これからもご支援をお願い申し上げます。

卒業生の皆さんが、それぞれに思いえがく輝かしい未来で羽ばたくことを願って、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

ご卒業おめでとうございます。

2021年3月1日

PTA代表 丸山水穂



令和3年度 入学式 祝辞

新入生の皆さん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。
PTAを代表いたしまして、お祝いのご挨拶をさせていただきます。
改めまして新入生の皆さん
仙台青陵合格、そしてご入学、おめでとうございます。
よくがんばりましたね。
憧れの学校に入学することができて、今、皆さんは、これからの学校生活に期待でいっぱいのことと思います。



この青陵は、皆さんの期待通りの、素晴らしい学校です。
レベルが高く楽しい授業、生徒たちの力で作り上げる様々な行事、そして、皆さんそれぞれが、自分なりの進路目標を持てるよう、進路を考える活動も充実しています。

それらは、皆さん自身が積極的に取り組んでこそ、皆さんの力になるものですから、是非チャレンジしてください。
もしかしたら、青陵での勉強はちょっと難しいかもしれませんし、様々な活動に取り組むのは、気後れすることもあるかもしれません。けれど、それはみんな同じです。今、青陵で、充実した学校生活を送っている先輩方だって、最初は同じように、不安に思ったり悩んだりしながらも、前向きにがんばって、青陵での生活を充実したものにしていたのです。皆さんにも、先輩方と同じ力があるのですから、どうか先輩方をお手本に、勉強や様々な活動に、一生懸命取り組んでください。そして、迷ったり悩んだりしたら、ひとりで抱えることなく、先生方や保護者の方に相談してください。そうすれば、きっと道は開けると 생각합니다。

皆さんの青陵生活が楽しく実りあるものになりますよう、心から応援しています。
保護者の皆様、本日はお子様のご入学おめでとうございます。
少し気の早い話ですが、今日の新入生は青陵を卒業するとき、成人を迎え、自立した大人への第一歩を踏み出すこととなります。

そう思うと、この6年間は、子育て最後の貴重な6年間です。もうこの年齢になると親ができることは限りがありますが、でも見守り応援することはできますし、きっとそれは子どもたちの支えになると 생각합니다。

PTAの役割も、子どもたちの学校生活が楽しく実りあるものになるよう応援し支えていくことだと思います。
どうか青陵の保護者仲間として、子ども達の学校生活を応援する活動にご協力くださいますようお願いいたします。
ここ青陵は、先生方や保護者による支援が手厚く、先輩の皆さんの学校作りの努力もあって、生徒が、のびのびと、自分なりに、自分の目標を目指せる環境があると思います。

新入生の皆さんが、このおらかな環境で、楽しく充実した学校生活を送ることを願って、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠におめでとうございます。

2021年4月9日

PTA代表 丸山水穂

制服リユース販売のご案内

学年保護者会開催に合わせ、制服リユース販売を以下のように開催致しますのでご案内申し上げます。
昨年度卒業生や在校生の皆様からリユース販売用制服をご提供頂きました。
ご協力に心より感謝申し上げます。
なお、制服売上代金は、PTA 雑収入に計上させていただきます。

日時：令和3年4月24日（土）8：30～9：30

会場：北校舎1階 食堂

持ち物：保護者証、室内履き、持ち帰り用袋

<当日の流れ>

受付 8:20～8:30 受付で検温、手指消毒

販売 8:30～ 販売開始

1グループ10名程度とし、1グループ5分間で購入して頂きます
会計購入商品決定次第会計

<注意事項>

- ・手指消毒、マスクの着用にご協力願います。
- ・お待ちの際は、間隔を空けてお並び下さい。
- ・入場は一家庭お一人までとさせていただきます。
(やむを得ず小さなご兄弟同伴の場合はこの限りではございません)
- ・ジャケット・スカート・スラックスはお子様1人に付き1点まで。
お子様1人に付き合計3点まで購入可能です。
- ・代理での購入は出来ませんので、ご自分のお子様の分のみご購入下さい。
- ・1点数百円となりますので、小銭でのお支払いにご協力ください。
- ・事前に商品の破損等確認は致しますが、お帰りになる前に各自必ず確認の上お持ち帰り下さい。
- ・今後のコロナの感染状況により、やむなく開催を中止することがあります。その場合は前日までに一斉メールにてお知らせ致します。

令和2年度卒業記念品について

去る3月1日に行われた令和2年度卒業式において、PTAより以下のように記念品を贈りましたのでご報告申し上げます。

印鑑

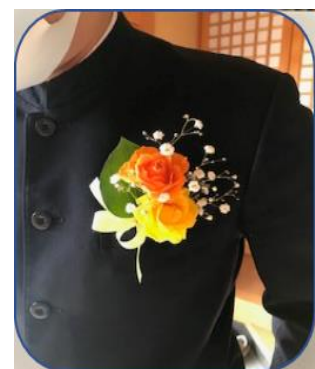
水牛製の印鑑を卒業生128名に贈りました。
刻印は姓名どちらかの選択制と致しました。



生花コサージュ

卒業生128名と6年生の先生方へ卒業式当日に付けて頂く生花コサージュを贈りました。

同窓会からも卒業証書ホルダーが贈られました。



生徒育成後援会から ～令和3年度検討事項～

仙台青陵には保護者が加入する団体として、PTAのほかに「仙台市立仙台青陵中等教育学校生徒育成後援会」(以下「育成後援会」という)があります。育成後援会は、PTAの活動とは別に、学校の施設・設備の充実や維持、クラブ活動の設備や活動、生徒への顕彰などに対する経済的な支援を行っています。

PTAと目的を異にしていることからこれまで別組織として活動していますが、実質的に保護者側の役員はPTA本部役員が中心となって担っています。(学校側担当は、PTAが総務部、育成後援会が生徒指導部と分かれています)総会は例年4月のPTA総会の後に短時間で行っており、運営委員会など役員会もPTAとは別に行っています。

この育成後援会について、今後1年かけて以下の2点を検討、来年令和4年度の総会において提案し、皆様の承認

をいただきたいと考えております。適宜情報提供をしながら進めていきたいと思っておりますので、青陵サポーターなど PTA からのお知らせにご留意いただくようお願いいたします。

1. 「育成後援会」を PTA 組織の中に取り込むかたちで PTA に統合する。

目的や設立時期の違いなどからこれまで別組織として活動してきましたが、保護者側のメンバーは PTA 代表が育成後援会会長を宛て職として務めるのをはじめ大部分を本部役員が担っています。

育成後援会の活動(主として予算の適正な配分)は、学校側が企画・立案して提案し、保護者側役員は年数回開かれる運営委員会において、それに対する質問・意見を述べ、適正な運営がなされていることを確認するという内容になっています。

保護者側が主体となって行う活動はなく、会の活動に対して保護者としての意見を申し述べる場があり、活動を監視できることが保障されるのであれば必ずしも別組織である必要のないものと考えられます。よって PTA への統合を行いたいと考えています。

なお PTA に統合となっても、会計は独立させ、育成後援会として独立した予算を組むものとし、また学校側の担当も PTA は総務部、育成後援会は生徒指導部のままとします。

2. 「遠征費補助積立金」の適正なあり方。積立額、余剰金の活用についての見直し。

育成後援会では、「遠征費補助積立金」を積み立てています。これはクラブ活動において、全国大会への出場があった場合など、単年度では賄い切れない支出が発生すると見込まれるために積み立てを行ってきたものですが、現在余剰金として 400 万円ほど残高があります。これをどのように活用していくか、適正な積立の規模はどれくらいなのか、適正な補助の水準はどれくらいなのか、適正な積立額を超えた際どのように処分するか、などを見直して来年度の総会で提案を行いたいと考えています。

以上、青陵サポーター・特別編として、代表からの卒業式・入学式祝辞、制服リユースのご案内、卒業記念品のご報告、育成後援会についての検討事項を取り上げ、皆様にお伝えいたしました。

4月24日に開催を予定し、準備しておりました PTA 総会ですが、新型コロナウイルスの感染状況に鑑みて、対面での開催を断念し、委任状開催とする事に致しました。後日配布されます総会資料に目を通し、委任状を提出していただくようになりますので、ご協力お願い致します。

令和2年度は様々な制限がある中での PTA 活動ではありましたが、皆様のお力添えを頂きながら、この状況下で出来得る活動ができたと思います。皆様のご理解ご協力に心より感謝申し上げます。

